

(別紙3)

文起第1026号-1

令和3年9月10日

(施設名) 米子市立山陰歴史館
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊 木 隆 司

令和2年度「米子市立山陰歴史館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市立山陰歴史館
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日(10年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

協定書及び事業計画書の水準を遵守し、施設の管理・運営を適切に行っている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策として、館内の換気や消毒を適宜実施、検温器を設置し感染対策を講じた。

特に、利用促進については、前年度から引き続き、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館の相互割引を実施しており、米子城に関する展示、米子市役所旧館90年の歩みや人気の高い郷土のたたらと刀剣の歴史など地域に根差した市民が興味を持ちやすいテーマで企画展を実施するなどの工夫が見られ、また、米子市や米子商工会議所などと連携し夏のライトアップ事業を実施した。今後も更なる取り組みを行うことで、一層の来館者の満足度の向上や利用者数の増加が図られることに期待したい。

【第三者評価】

① 施設について

- ・旧庁舎の活用のため、展示には大変であるが、旧庁自身が保存物であり、展示物なので大切に保存すべきである。
- ・適切な評価だと思います。
- ・古い建物であるが、清掃や衛生への配慮が適切に行われている。
- ・学習機関としてだけでなく、研究機関としても史料の管理に努められていると感じます。
- ・建物の維持管理(修繕)や日常的な清掃・点検等を行い館内・館外ともに清潔に保たれるよう適切な維持管理がされている。

②管理について

- ・旧庁舎のため、点検・補修等大変である。
- ・体制も整い、適正に対処されていると見て取れます。
- ・新型コロナ感染予防対策を講じつつ、通常の施設管理事業にも尽力されている様子がうかがえました。
- ・適切な評価だと思います。
- ・備品や展示物、資料等の管理が適切に行われている。
- ・協定書に基づき、施設の設備点検、修繕業務等適切に行われている。

③事業について

- ・来館者に親しみと意味を持たせ、歴史的価値を会得させる展示である。
- ・説明が良好。
- ・コロナ禍の中、集客に苦勞ある中、ソフト事業にも取り組むなど、幅広く展開されていることに敬意を表します。(アンケートに見る限り、好意的な回答が読みとれます。)
- ・展示内容や来館者対応に工夫が見られ大変良いと思います。
- ・来館せずとも歴史に触れる機会を提供しようという姿勢が感じられました。
- ・適切な評価だと思います。
- ・コロナ禍においても企画展や講演会の実施など郷土の歴史と民俗に関する市民の興味関心に応える取組みにも力を入れている。
- ・アンケートを取り今後の事業の参考にしたり、Twitter を活用しコロナ禍でも郷土の歴史を知る機会を提供するなどサービス向上に努めている。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

今後も適切な施設管理に努め、関係機関や他施設と連携協力のもと引き続き幅広い市民のニーズを捉えながら企画展、ソフト事業等の内容を検討することで、さらなる市民の歴史的知識・教養の向上や入館者数の増加に期待したい。引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策の実施を講じること。

【第三者評価】

- ・旧庁舎は有形文化財のための維持管理をすること。
- ・米子城調査及び米子城の歴史をテーマとする企画展を考えてほしい。
- ・コロナウイルスによる配慮及び入館者減のため、今後の入館者の増加に繋がる検討をすること。
- ・事務室を玄関側に移設し、事務室の拡充を検討してほしい。
- ・閲覧資料室が隣接して設置できれば良い。
- ・建物が文化財であるがゆえに無理があり、良く活用使用にも限界がある。
- ・令和2年9月20日のイベント参加者の女性の回答数が男性を抜いていたのに目がとまりました。
- ・入館者は、中年層、男性の傾向がウォーキング等、体験型など、女性も多く参加される事業が良かった。
- ・館所蔵資料の目録等を整理して、ホームページ上から閲覧できるようにならないか。

(別紙2)

令和2年度下期「米子市立山陰歴史館」モニタリング評価表〔令和3年8月〕

施設名	米子市立山陰歴史館	
施設所管課	米子市経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日	
選定方法	公募 非公募	
施設の設置目的	郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土の歴史、民俗及び考古資料を主として収蔵展示する博物館類似施設であり、常設展示のほか様々な企画展を実施。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた人員配置がなされ、緊急時の連絡体制・マニュアル等が整えられている。 また、救急救命・防災のための訓練や研修に参加している。 [資料等確認]
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	財団主催の研修のほか、米子市などの外部で実施されている研修にも参加し、職員に必要な資質・能力の向上を図っている。 [資料等確認]
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	チラシの配布やポスターの掲示をはじめ、広報よなご、ホームページへの情報掲載、報道機関への情報提供、Twitter などにより、利用者拡大に努めている。 [資料等確認、立入調査]
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	利用者数は適切な水準である。 [資料等確認]

(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	<p>日常業務で受けた利用者からの要望を迅速に担当者へ報告するとともに、企画展や講演会でのアンケート実施による利用者の要望の把握を行い、その実現に向けて努力している。</p> <p>[資料等確認・立入調査]</p>
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づいて、電気・水道・消防設備等の点検を適切に行っている。第三者に行わせる業務は必要最小限である。[資料等確認]</p>
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づき、定期清掃を行なうなど施設内の清掃や植栽の管理等を適切に実施している。第三者による業務は最小限のものである。[資料等確認、立入調査]</p>
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づいて、保安・警備業務が適切に実施されている。第三者の行わせる業務は必要最小限である。[資料等確認]</p>
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	<p>協定書に基づいて、適切な修繕業務が実施されている。第三者に行わせる業務は必要最小限である。 [資料等確認]</p>
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	<p>事業計画書の内容に沿った自主事業が実施されている。事業内容のタイアップや資料を借用など他の施設と連携を図り、充実した事業展開が出来ている。また、米子の農家の昔の暮らし・道具、鉄道資料寄贈速報の展示など地域に根差した事業を積極的に実施している。 [資料等確認、立入調査]</p>
5 情報公開・個人	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	<p>歴史館内の資・史料については、</p>

情報に係る措置			歴史館条例に沿った書式で対応した。[資料等確認]
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	「郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資する」という施設のあり方を正しく認識しており、事業計画書に具体的な提案がなされている。[資料等確認]
II サービスの質の評価 (25点)			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	アンケートの実施や窓口対応等を通じて、来館者からの要望・意見の把握を日常的に行い、事業計画書には利用者への具体的なサービス向上策が反映されている。 [資料等確認]
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	協定書に基づいて、職員が日常的に清掃・点検等の業務を行い、細かくチェックすることで良好な状態が保たれている。 [資料等確認、立入調査]
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	事業実施計画書により利用者への具体的なサービス向上策が提案され、利用者への接客・対応は適切である。利用者への許可、資料提供などを行っている。 [資料等確認、立入調査]
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	市民に親しみながら歴史的価値を知ってもらえるような内容であった。企画展「郷土のたたらと刀剣の歴史」では、郷土に受け継がれている鉄の文化の歴史を紹介した。また、刀剣フォーラムに刀剣女子の興味関心を高める機会となった。[資料等確認、立入調査]
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	「郷土の歴史に関する市民の知識及び教養の向上に資する」とい

				<p>う施設の設置目的に沿って、市民の知ることの少なかった地元の歴史に関する情報発信や、市民がよく知っている地元の歴史の受け入れ体制づくりを模索しながら管理運営にあたっている。</p> <p>[資料等確認、立入調査]</p>
--	--	--	--	--

Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	妥当である。 [資料等確認]
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか※3	B	妥当である。 [資料等確認]
3	団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか※4	B	妥当である。 [資料等確認]

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理運営を行っており、利用促進業務、自主事業の実施に関する業務、運営業務、自主事業については、優れた水準であった。</p> <p>コロナ禍の中ではあるが、市民の親しみやすさを意識したテーマ選択がなされた点や、施設の利用促進とサービスの向上に資するものであったと高く評価できる。今後も更なる工夫がなされ、一層の利用者数の増加が図られることに期待したい。</p>	<p>合計点 (66) 点 / (100) 点 × 100 = (66)</p> <p>平均点 (3.3) 点</p>
--	---

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔令和2年4 ～令和3年3月〕A	前年度〔平成31年4 ～令和2年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	289	304	△15、95.07 (%)	
施設利用者数	16,729	21,161	△4,432、79.06 (%)	入館者の減
施設稼働率	100%	100%	0、100 (%)	
事業開催数 (企画展展示日数)	182	197 (企画展展示日数)	△15、92.39 (%)	

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和2年4 ～令和3年3月〕A	前年度〔平成31年4 ～令和2年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
指定管理料	21,004,000	20,723,000	281,000、101.36 (%)	
業務受託収入	2,199,664	1,615,364	584,300、136.17 (%)	委託事業増
事業収入	375,377	778,075	△402,698、48.24 (%)	事業収入の減
補助金等収入	12,300	0	12,300、- (%)	
雑収入	3,760	14,660	△10,900、25.65 (%)	コピー代の減
合計	23,595,101	23,131,099	464,002、102.01 (%)	

(2) 支出

項目	本年度〔令和2年4 ～令和3年3月〕A	前年度〔平成31年4 ～令和2年3月〕B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える場合 は増減理由を記載
人件費	15,515,381	14,526,091	989,290、106.81 (%)	
施設管理費	5,852,713	4,867,540	985,173、120.24 (%)	消耗什器備品費科目移動
委託費	3,032,358	2,397,876	634,482、126.46 (%)	委託費の増
事業費	634,443	1,485,837	△851,394、42.70 (%)	消耗品の減、消耗什器備品費科目移動
合計	25,034,895	23,277,344	1,757,551、107.55 (%)	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和2年4 ～令和3年3月〕A	前年度〔平成31年4 ～令和2年3月〕B	対比 A-B、A/B	備考
① 事業収支	△1,439,794	△146,245	△1,293,549、984.51 (%)	
② 利用料金比率	0	0	、 (%)	
③ 人件費比率	61.98	62.40	△0.42、99.33 (%)	

④ 外部委託費比率	12.11	9.11	3、132.93 (%)	
⑤ 利用者当たり管理コスト	1,496	1,100	396、136 (%)	
⑥ 利用者当たり自治体負担コスト	1,255	979	276、128.19 (%)	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況(年度ごと下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	備考
①自己資本比率	51.0	55.1	44.9	62.8	44.8	
②流動比率	238.4	281.4	191.7	323.6	196.3	
③固定長期適合率	15.9	15.6	11.2	11.0	12.6	
④総資産経常利益率	7.6	2.3	4.4	-0.5	-8.1	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率(\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】} 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率（\%）} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率（\%）} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250

■貸借対照表（例）

■損益計算書（例）

法人税・住民税等	50
当期純利益	200

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

6 利用者アンケートの結果

令和2年度企画展 米子市役所旧館90年の歩み（展示期間：R2/6/6（土）～7/26（日））

入館者数:480人

◆回答者数	162人	男：42人	女：22人	無回答9人	
◆年代	10歳未満：0人	10代：1人	20代：5人	30代：3人	40代：10人
	50代：9人	60代：9人	70代：23人	80代以上：4人	
◆お住まい	米子市：49人	境港市：1人	上記以外の鳥取県内：4人	県外：9人	
◆情報の取得について	チラシ・ポスター：21人	新聞：11人	テレビ：1人	ラジオ：0人	

インターネット：8人 市報：10人 その他：17人

◆展示内容、展示方法について

大変良かった：28人 良かった：31人 まあまあ良かった：4人 普通：1人
あまり良くなかった：0人 良くなかった：0人

◆記述欄（一部）

- ・米子の中心たる旧庁舎の資料、沢山あるものですね。世間の多くの人知ってもらえる術を・・・もっと発信。
- ・昭和の初期の様子がなんとなく浮かぶ。
- ・米子の歴史に不案内のためキャプションが詳しくて勉強になりました。
- ・貴重な資料が残っていることに驚きました。
- ・旧米子市役所の建物（特に意匠）を知ることができてよかったです。昭和5年に山陰随一の鉄筋造の建物があったことは、米子市民にとって誇りやあこがれのようなものがあったのだらうと思いました。

◆その他 ご意見・ご感想

- ・米子城のこと、吉川広家、中村忠一のことなどやってほしい。
- ・動物園水族館の歴史をお願いします。
- ・車椅子の方は2階に行けないので、対策をお願いします。
- ・学芸員さんの解説がよかった。
- ・展示がわかりやすく良かった。

令和2年度 講演会 「米子市役所旧館と米子の近代建築」

講師 米子工業高等専門学校 名誉教授 和田 嘉宥 開催期日：令和2年7月19日(日)

◆講演聴講者 31人

◆アンケート回収 31人

◆性別 男 22人 女 9人

◆年代 30代 2人 40代 4人 50代 3人 60代 7人 70代 13人
80代以上 2人

◆お住まい 米子市 26人 境港市 1人 西伯郡 0人 県外 4人

◆情報の取得について チラシ・ポスター 18人 新聞 5人 インターネット 5人
市報 4人 その他 4人

◆講演について

大変良かった 15人 良かった 10人 まあまあ良かった 1人
普通 2人 あまり良くなかった 1人 良くなかった 0人

◆意見・感想

- ・館内の構造・建築当時の歴史等大変わかりやすかったです。
- ・米子市の歴史について初めて知ることばかりでした。地元の動きを学ぶことが出来て良かった。
- ・米子市庁舎旧館の当時の位置付けなどが良く分かりました。一部インテリアの原寸図も残されており、広い面積の活用は大変かもしれませんが、活用されていくと良いと思いました。
- ・建設の詳細を始めて知りました。建築物としての価値付けも、重要なものがあると感じました。

- ・コロナ関連のためにマスクをしての話は聞きづらかったが仕方がないですね。少し早口すぎたようです。
- ・プロジェクターに写された資料（写真等）を、配布資料にしてほしかった。

第9回米子歴史絵巻「因幡の麒麟獅子舞・因幡の傘踊り」 開催期日：令和2年9月20日（日）

参加者数：176人 会場：米子市淀江文化センター メインホール

- ◆回答者数 176人 男：52人 女：81人 無回答：8人
- ◆年代 10歳未満：1人 10代：3人 20代：4人 30代：5人 40代：8人
50代：9人 60代：31人 70代：65人 80代以上：15人
- ◆お住まい 米子市：107人 境港市：5人 西伯郡：14人 日野郡：0人
上記以外の鳥取県内：4人 県外：11人
- ◆情報の取得について チラシ・ポスター：45人 新聞：9人 インターネット：4人
市報：26人 知人・友人：52人 その他：28人

◆意見・感想

- ・東部の方の伝統芸能は生で拝見する機会がありませんでしたので、貴重なひと時でした。
- ・歴史的に残された芸能に感動しました。今後も継承し、鑑賞する機会を作ってください。
- ・国指定重要無形文化財の因幡の麒麟獅子舞初めて見る事が出来ました。
- ・因幡の傘踊り、活発な踊りでその時代背景が感じられ好感度でした。唄の人も良い声でした。
- ・歴史絵巻は、数年前ます形で開催されたとき、参加してとても印象に残っています。これからも充実した企画を期待しています。

令和2年度企画展 「郷土のたたらと刀剣の歴史」

（展示期間：R2/10/31（土）～11/29（日））

入館者数：1,143人

- ◆情報の取得について チラシ・ポスター：47人 新聞：12人 テレビ：16人 ラジオ：1人
インターネット：15人 市報：13人 その他：37人

◆これまでに刀剣等に関する展示会など参加について

今回が初めて 31人 数回程度 59人 10回以上 29人

◆展示内容、展示方法について

大変良かった：51人 良かった：52人 まあまあ良かった：10人
普通：4人 あまり良くなかった：1人 良くなかった：1人

◆記述欄（一部）

- ・見ているだけで身体がピシヤッとなる感覚だった。
- ・直刀から館蔵彎刀、新々刀、現代刀まであって、本物の迫力があつた。
- ・出土品も近代に作られた刀剣にもロマンを感じます。刀の長さに加えて重量も説明文に記載があれば、その（鉄）質感・重量感も実感できると思います。
- ・鉄器などの遺物、刀剣、文書などがバランスよく紹介されていて、郷土のたたらと刀剣の歴史を勉強できた。
- ・鳥取の古墳時代の鉄剣が多く良かった。

令和2年度 講演会 「刀剣フォーラム」

講師 岡村 吉彦 開催期日：令和2年10月31日(土)

- ◆講演聴講者 112人
- ◆アンケート回収 59人
- ◆性別 男 35人 女 24人
- ◆年代 20代 2人 30代 8人 40代 13人 50代 12人 60代 7人
70代 15人 80代以上 1人
- ◆お住まい 米子市 35人 境港市 2人 西伯郡 2人 日野郡 1人
上記以外の鳥取県内 8人 県外 11人
- ◆情報の取得について チラシ・ポスター 25人 新聞 3人 インターネット 6人 テレビ 1人
市報 7人 その他 8人
- ◆講演について
大変良かった 13人 良かった 5人 まあまあ良かった 0人
普通 0人 あまり良くなかった 0人

◆意見・感想

- ・パネルディスカッションによって、内容の理解が深まった。
- ・想像していたよりずっと内容が濃くおもしろかった。居合の話から実験のくだりなどは初めて聞く話で聞き入りました。ぜひまたやってほしいです。

令和2年度企画展 “光”と“暖”の道具 (展示期間：R2/12/20(日)～R3/3/28(日))

入館者数：1,060人

- ◆回答者数 35人 男：23人 女：12人
- ◆年代 10歳未満：6人 10代：0人 20代：1人 30代：2人 40代：7人
50代：2人 60代：6人 70代：7人 80代以上：5人
- ◆お住まい 米子市：20人 境港市：0人 西伯郡：1人 日野郡：0人
上記以外の鳥取県内：4人(鳥取市)
県外：11人
- ◆情報の取得について チラシ・ポスター：14人 新聞：2人 インターネット：9人
市報：4人 その他：8人
- ◆展示内容、展示方法について
大変良かった：14人 良かった：20人 まあまあ良かった：0人
普通：1人 あまり良くなかった：0人 良くなかった：0人

◆記述欄(一部)

- ・灯りの歴史がよくわかった。
- ・一部室内を暗くして、電燈が普及する前の行灯の明りとかを体験できればよいか。
- ・あかりと暖(とくにこちら)興味があったのでびったりだった。
- ・だるまストーブが小学校で使われていて、あんなストーブをわたしと同じくらいの年齢の人が使っているのがびっくりしました。

・子どもの頃、家で見たことがある物があったので、懐かしく思いました。

◆その他 ご意見・ご感想

・光と暖の道具展は、古い物をよく保存されているものだと感心しました。

・昭和 30 年代の日常生活が実感できる展示でした。

・デジタルアーカイブ 3D スキャンなどのデータで展示品を残してください。

・この建物自体（保存すべきだと思います）が戦前からあり、昔（第 2 次世界大戦中）のニュース映画などに映っているのを見たことがあります。

・今回の光熱展示品を 2 階のテレビ、ステレオ、ミシンのあたりに常設展示できないか。